

評価項目及び評価基準

1 評価点

評価点の算出方法は、次の合計点数とする。

技術審査点数 + 価格審査点数 = 合計点数

(200 点満点) (20 点満点) (220 点満点)

(選定委員平均)

2 技術審査点の点数化の方法

選定委員 1 人当たりの技術審査点の配点は、200 点とする。また、表 1 評価項目及び配点（以下「表 1」という。）に示す評価項目ごとに、表 2 評価基準（以下「表 2」という。）で示す基準により評価し、各選定委員が項目ごとに算出した点数の合計を選定委員数で除し、小数点第 2 位以下を四捨五入した点数を技術審査点数とする。なお、各評価項目の点数及び技術審査の点数の計算方法は、次に掲げるとおりとする。

(1) 各評価項目の点数＝表 1 の各項目の配点×表 2 の評価による配分率

※少数点第 2 位まで求める（小数点第 3 位以下は切り捨てる。）。

(2) 技術審査点数＝前号で算出した各評価項目の点数の合計

※少数点第 2 位まで求める（小数点第 3 位以下は切り捨てる。）。

表 1 評価項目及び配点

評価項目	評価内容		配点	
提案概要	業務の目的及び現状の課題を的確に理解した提案となっているか。課題解決に資する方向性や考え方が具体的に示されているか。		10	10
実施体制	業務の実施体制は、責任者、担当者の役割、責任の所在が明確で、円滑な業務遂行に十分な体制が確保されているか。また、本プレゼンテーションに参加している者が実施体制に入っており従事することとなっているか。		10	30
	本業務と類似するシステム開発や自治体向け業務の実績を有しているか		10	
	本業務を確実に遂行するためのスケジュールが現実的かつ具体的に示されているか		10	
機能性	本市が要求する機能要件に適合しているかに加え、業務の効率化や利便性向上に資する提案がされているか。	①事案管理等の機能	5	70
		②ユーザー管理機能	5	
		③他システムとの連携	10	
		④災害情報の通知機能	10	
		⑤活動支援機能	10	
		⑥出動報告機能	10	
	本市が要求する機能要件以外に、本業務の効果向上に寄与する独自性や付加価値を有する機能の提案がなされているか。		20	

操作性	利用者にとって、直感的で分かりやすい画面構成や操作方法となっているか。	20	40
	画面偏移の際のレスポンス等、利用者にストレスのない設計となっているか。	10	
	利用者にとって、アプリ等のダウンロードや認証を容易に行うことができ、円滑に利用を開始できる仕組みとなっているか。	10	
運用・保守	本市からの問い合わせ窓口が一本化されており、障害が発生した際の連絡体制や応急処置などサポート体制は迅速かつ適切な体制か。	20	30
	OS やブラウザのアップデート等に伴うシステム改修の対応方法は明確か（有償・無償の考え方は明らかなか）。	10	
セキュリティ対策	個人情報保護に関して十分な対策が施されているか、また事業者として適切な考え方をもっているのか。	10	20
	災害、停電、ネットワーク障害時の対策や、データのバックアップや復元の対策は適切か。	10	

※合計点数が、配点の 7 割を下回る場合には、優先交渉者として選定しない。

表 2 評価基準

評価	評価内容	点数の算出方法（配分率）
A	特に優れている	配点 × 100%
B	優れている	配点 × 75%
C	普通	配点 × 50%
D	やや劣る	配点 × 25%
E	劣る（未記載含む）	配点 × 0%

3 価格審査の点数化方法

価格審査の配点は、20 点とする。価格審査における価格審査点数は、次の式によって算出する。

$$\text{価格審査点数} = (\text{最低見積価格} / \text{提案価格}) \times 20 \text{ 点}$$

※少数点第 3 位以下は切り捨てる。

4 同点の場合

審査の結果、最も合計点数が高い者が複数あるときは、審査委員の多数決により優先交渉者を選定する。